

## 令和5年度狛江市男女共同参画推進フォーラム概要（案）

1. テーマ：※検討
2. 日 時：令和5年12月2日（土）午後1時30分～3時30分
3. 会 場：狛江市防災センター4階会議室（オンライン同時配信）
4. 定 員：会場：80人 ※事前予約制
  - ・お子さまと一緒に入場可
  - ・保育士によるキッズ見守りコーナーあり（1歳～未就学児まで先着5人）
5. 申込み：11月1日（水）午前9時から
6. 対象者：どなたでも
7. 講 師：瀬地山角氏（東京大学大学院教授）
8. タイムスケジュール

13：00～	開場
13：30～13：35（5分）	開演、室長挨拶、講師紹介
13：35～15：30（115分）	講演（質疑応答含む）
15：30～	委員長挨拶、終了

【参考】瀬地山角氏より各講演会主催者への共通文書（一部抜粋）

これまでの講演を見ていると高齢の女性ばかりが集まることが少なくなく、本当に聞いてほしい子育て層になかなか聞いてもらえません。20年近くやっても対象が変わりませんので、少しこちらからご提案をさせていただきたいと思っております。

まず託児です。当然お願いしたいのですが、6ヶ月未満児は対象外のところが多いはずで。そこで託児の有無にかかわらず、「子連れ・赤ちゃん連れ大歓迎！」として、会場に連れ込んでよいことにしていただけませんか？「託児可」というのが上から目線でまずいと思っております。私の方で最初に「赤ちゃんが泣いても許してくださいね、これも子育てのしやすい社会に向けての取り組みなので」と断りをいれます。乳児を抱える人たちが文化的な催しに行くのは大変難しいことですので。また「お子さんを連れてご夫婦どうぞ！」などとビラに書いて、夫婦で考えるきっかけにしてほしいと思っております。私自身、小規模な集まりでしたが、子どもをあやしながら講演したことがあります。

男性を集めるためには副題に「男の家事が社会を救う！」と入れる。パパサークルに声をかける、保育所とPTAに広報するといったやり方もあり得ます。学生が対象の時は「男女とも必見！ジャンボ宝くじを必ず当てるには！？」を副題等に入れる（←放っておくと女子学生が多くなるので）。このほか「世界一受けたい授業で東大人気講義 No.1 に選ばれた講師」「へたな漫才より笑えます」も研究者としては恥ずかしいことですが、集客のためなら使ってくださいけっこうです。

これらはいずれもこの数年やってきたことで、本当に赤ちゃんの泣き声の聞こえる講演会が増え、かなり効果を感じています。最近は安定して40代以下が過半数になりました。